

国際センター通信(No.133)

国際センター通信は、土木学会の国際活動・技術交流を中心に情報を集め、月1回国内外に発信しています。国際センターや海外支部（英国、韓国、台湾、トルコ他、全9分会）の活動や行事、ACECC（アジア土木学会連合協議会）の動き、調査研究委員会（31分野）の国際活動、国内外で活躍する技術者・研究者、最新技術やユニークなプロジェクト等、当会を通して今の土木界の側面を楽しく面白くお伝えしています。皆さまの御希望やご要望をお待ちしています。

今月は、当会の、土木分野では最大規模の会議である全国大会国際関連行事とJICAのRAMP研修セミナーをご紹介します。

2023 年土木学会全国大会

国際関連特別講演会

『土木の分岐点@ジャンクション、みち、未来（Junctions, Paths, and Future, Crossroads of Civil Engineering）』開催報告

国際関連特別講演会は標記のタイトルで、9月13日(水) 10:00~12:00、広島国際会議場で開催された。対面参加およびZoom配信を使ったハイブリッド方式で実施され、合計で92名の方々にご参加頂いた。

本講演会は昨年度と同様に、主題を“土木の分岐点”とし、土木工学に携わる我々が進むべき進路について“継続的に”考える機会として企画・開催された。第2回目となる今大会においては、『世界的なビックプロジェクト』と、世界中で法整備が急ピッチで進められている『カーボンニュートラル』に焦点を当てることにした。

木村 亮 国際センター長の開会挨拶に始まり、前半は2件の基調講演を頂いた。

IHI 常務執行役員・川上 剛司 様には「長大橋技術によるトルコ・欧州での橋梁事業の持続的展開」という題目でご講演頂き、橋梁事業を対象に、海外と日本の事業形態の違いについて触れて頂いた。海外と日本でのスピード感の違いを感じる一方で、日本の土木技術が世界で大いに活躍していることを知ることができた。

続いて、ARUP・徳渕 正毅 様には「サステナビリティと建築構造」という題目でご講演頂き、建築分野における世界のカーボンニュートラルへの取り組みについてご紹介頂いた。欧州においては、カーボンニュートラル実現のための法整備がかなり進んでいること、その一環としてサーキュラーエコノミーの多種多様な取り組みがなされていることを知る機会となった。

後半部分は、川上 様、徳渕 様に加えて、ヘンリー マイケル 先生（芝浦工大）、西川 貴文 先生（長崎大）、党 紀 先生（埼玉大）にもご登壇頂きパネルディスカッションを行った。基調講演を受けて、「日本におけるカーボンニュートラルへの取り組みが実感できるか?」、「人口増加に伴う土木インフラ整備需要の増加と、カーボンニュートラルとの二律背反をいかに両立するか」などの論点を中心に議論が展開された。ディスカッションの最後には、「日本の土木の分岐点となるの



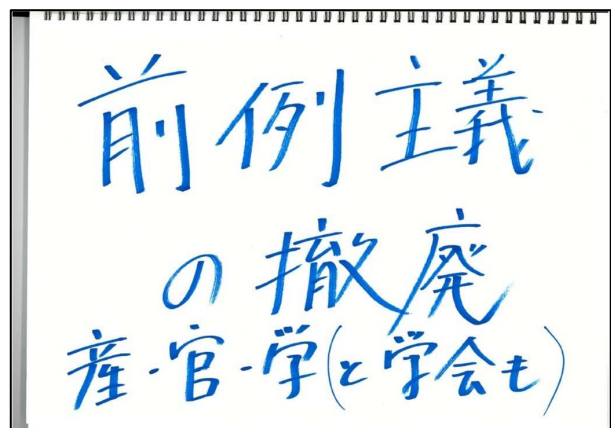
岩井 裕正
(京都大学大学院
准教授)

はいつか？」という問が投げかけられ、全ての登壇者が「今（既に遅いぐらい）」と回答し、全人類的な課題に対する危機感が顕になった。



「日本の土木の分岐点となるのはいつか？」

最後に、木村 亮 国際センター長から、本講演会の総括コメントとして「前例主義の撤廃」という強いメッセージが出された。次回 2024 年大会でも“土木の分岐点”についての議論を継続する予定である。“前例主義の撤廃”をキーワードに過去の例に囚われない印象的な講演会としたい。



木村 亮 国際センター長のメッセージ

【記：京都大学大学院工学研究科 准教授 岩井 裕正】

JICA RAMP 留学生セミナー開催

独立行政法人国際協力機構（JICA）では日本国内の道路アセットマネジメントに関する技術の海外展開の支援・開発途上国の中核人材の育成を目的に RAMP（Road Asset Management Platform）を設立しており、その活動の一つである長期研修員事業では、2017 年より各省庁、研究機関、大学の職員等を対象に、日本の大学に長期研修員として 2023 年 4 月までに計 17 カ国、71 名を修士課程、又は博士課程の学生として受け入れています。



近藤 竜平
(独立行政法人
国際協力機構)

長期研修員事業では、留学中に日本における道路維持管理に係る技術や取り組みへの理解を深めるとともに、道路維持管理分野において実践的な内容を学ぶ機会を創出すること、及び道路維持管理分野における国内のナレッジの共有を検討する機会を創出することを目的として、留学生セミナーを実施しています。近年においては、コロナ禍でのオンライン講義、各高速道路会社のご協力いただきながら開催しており、この度、2023 年 8 月 22 日～26 日の 3 日間においては、芝浦工業大学にて 47 名の長期研修員が参加した留学生セミナーを実施しましたので紹介させていただきます。

< 1 日目 >

首都高速道路技術センターの土橋 浩 副理事長より『Implementation of Digital Twin with Data Platform in Road Maintenance and Management』と題しました基調講演では、データプラットフォームによる道路資産管理システムの紹介をいただきました。また、パネルディスカッションでは「日本での生活や新しく来た留学生に伝えたいこと等」をテーマとして、留学生活での困難やその解決策を議論いただき、自分が経験した困難のほとんどが多くの研修員の間で共通していることを知り、勇気づけられた等、活発な意見交換が実施されました。

< 2 日目 >

初日に引き続き、長期研修員より各々の研究進捗の発表報告を実施し、質疑応答を通して様々な研究テーマ、領域で活用できるツールやアプローチについて深く理解する場となりました。清水建設（株）技術研究所の見学においては、自然災害による問題に対する研究成果と、シミュレーションやモデルによってどのように解決できるかを知ることができた、その国特有の問題を解決する努力に好感を持った等の感想が寄せられました。



パネルディスカッション



研修員プレゼンテーション

< 3 日目 >

隅田川に架かる橋梁を水上バスから視察では、間近で様々な種類の橋や、橋の耐久性を維持するためにどのようなメンテナンスが行われてきたかを実際に確認いただき、他の学生と友好的なネットワークを築く場ともなりました。

セミナー終了後のアンケート結果からは、「留学生同士の研究発表は、たくさんのアイディアを得る良いプラットフォームになった。自分たちの経験を分かち合い、お互いをよく知る機会になった。」「国が違っても同じような問題を抱えていることがわかった。」「次回は現場視察も望む。」等の声が聞かれ、次回のセミナー開催の検討に活かしていきたいと思います。

最後になりますが、セミナーの企画運営にご協力をいただきました芝浦工業大学のヘンリー マイケル 教授、基調講演をいただきました首都高速道路技術センターの土橋 浩 副理事長、視察にご協力いただきました清水建設（株）技術研究所 様にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。



ヘンリー教授と RAMP 長期研修員（芝浦工業大学にて）

第 25 回国際ナショナルサマーシンポジウム報告

国際ナショナルサマーシンポジウムは 2012 年から国際センター・留学生グループが主催しており、今年で 25 回目の開催となった。本シンポジウムは日本国内で土木工学を学ぶ留学生、日本人学生、若手土木技術者を対象に、英語による研究発表、国や研究分野を越えた交流と協働、ネットワーク形成を目的に開催している。今年度は土木学会全国大会期間中の 9 月 14～15 日に①年次学術講演会における国際セッションでの英語論文発表、②グローバル技術者ワークショップ、③ネットワーキングレセプションの 3 部構成で実施した。

9 月 14～15 日に開催した国際セッション（表 1）では、トンネル工学、地盤工学、構造工学、防災とレジリエンス、AI・データサイエンス、環境と材料、インフラメンテナンスなど、多岐にわたる分野から 54 編の論文発表があった。今年度の全国大会は「適散適集」を掲げており、広島大学と広島工業大学の両キャンパスを Zoom を介してつなぎ、リモートでも発表できる環境でセッションを開催した。活発な意見交換、質疑応答があり、2 日間にわたるセッションは絶えず活気に満ち、盛り上がりを見せた。この場を借りて、座長の方々、講演者、聴講者に厚く御礼を申し上げる。



党 紀
(国際センター 留学生
グループ)

表 1 国際セッション

セッション名	件数	座長
セッション①Tunnel and Foundation	7	Chandra Shekhar Goit 助教 (埼玉大学)
セッション②Structural Engineering	7	何 昕昊 助教 (東北大学)
セッション③Urban Lifeline and Disaster Resilience	7	北岡 貴文 准教授 (関西大学)
セッション④Construction, Planning and Management	7	佐々木 邦明 教授 (早稲田大学)
セッション⑤AI, Data Science, DX	7	Henry Michael 教授 (芝浦工業大学)
セッション⑥Construction Material and Waste	5	王 海龍 准教授 (早稲田大学)
セッション⑦Geotechnical Engineering	7	Gulsen Feyzullah (戸田建設 (株))
セッション⑧Infrastructure Maintenance	7	澤村 康生 准教授 (京都大学)
合計	54	

続いて、9月15日の午後15:30から18:00まで、グローバル技術者ワークショップを広島大学 学士会館 レセプションホールで開催した。今年度は「土木技術者が知るべき SDGs とは (The Role of Civil Engineering in Achieving the SDGs)」をテーマとし、39名の留学生がワークショップに参加した。

ワークショップではヘンリー マイケル 教授（芝浦工業大学）を講師に迎え、SDGs の概要についてご講演をいただいた。その後、参加者はグループに分かれ、持続可能な社会の実現に向けて土木業界や土木技術者が何をすべきか、どのように貢献できるかを議論した。活発なディカッションが行われ、最後に各グループより SDGs 達成に向けて、土木業界が目指すべき将来の姿、土木技術者の役割について発表があった。参加者から「SDGs など新しいアイデアをたくさん勉強できたことや、たくさんの留学生と交流できてよかった。」と感想があり、大変有意義なワークショップとなった。来年度のワークショップはヘンリー 教授を講師として、引き続き SDGs をテーマに開催する。ぜひ参加いただきたい。



グローバル技術者ワークショップ

そして、18:30 より学士会館内のレストラン「ラ・ボエーム」でネットワーキングレセプションを開催した。このレセプションには、ワークショップに参加した留学生やファシリテーターとして活躍した先生方、合計 36 名が参加した。冒頭で、木村 亮 国際センター長より乾杯の挨拶をいただき、その後、筆者が司会進行を務める中、ヘンリー 教授から今回のワークショップの報告と来年度の抱負が述べられた。会場は和気あいあいとした空気に包まれ、参加者間の会話は絶えず、実り多い交流の機会になった。



ネットワーキングレセプション

★2023 年度 留学生向け企業説明会のご案内★

留学生グループは、日本企業の事業紹介や採用情報提供の場として、「留学生向け企業説明会」を毎年開催している。今年は 12 月 9 日（土）に開催予定である。現在、参加企業を募集している。詳細は土木学会国際センターのウェブサイト(<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/>)をご参照いただき、ご質問、ご不明な点があれば、土木学会国際センターにお問い合わせください。

【記：埼玉大学 准教授 党 紀（留学生 Gr.リーダー）】

ホスト先輩プログラムを開始します！

土木学会 国際センター・留学生サポートチーム（The Civil Engineering International Students Support Group, CEIS）は、新たなプログラム「ホスト先輩」を開始します！

ホスト先輩プログラムとは？

ホスト先輩プログラムは、日本で土木を学ぶ留学生に、身近な先輩（日本で働く外国人技術者）を紹介し、生の情報を提供することを目的としています。また、人脈作り、キャリアアドバイス、文化交流、など新しいアイデアや友だちをつくる機会（e.g., 交流会、勉強会や視察）※も提供します！

日本で働いている海外出身の土木技術者で、次世代の土木技術者にアドバイスをしながらお互いに刺激し合い一緒に活動したい方、そして日本の大学で土木工学を学んでいる留学生で、すでに日本で活躍している技術者・研究者から学びたい方は、この機会をお見逃しなく。

下記よりご登録ください。

- 留学生 登録フォーム: <https://forms.gle/YdDvnb6VctdvJs726>
- 先輩 登録フォーム: <https://forms.gle/7ptjekLFNh8qRfPs9>



ホスト先輩プログラム



外国人技術者グループメンバー

- 連絡先: intlstudentsjp@gmail.com.
- CEIS Facebook Page: <https://www.facebook.com/profile.php?id=100089190174033>.

※本プログラム、活動は土木学会の支援の下で実施いたします。

お知らせ

【今後の予定】

◆留学生向け現場見学会(11月30日開催)

<https://www.jsce-int.org/node/841>

◆留学生向け企業説明会(12月9日開催予定)

<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

◆Infrastructure System Resilience: An Engineering Framework for Assessment, Management, and Governance

<https://ascelibrary.org/doi/10.1061/9780784485088>

◆【学術交流基金助成】土木学会会員が国内、国外で実施する

国際ジョイントセミナー・国際シンポジウム等への助成(2024年1月10日締め切り)

<https://committees.jsce.or.jp/iefund/node/22>

◆土木グローバル化総合委員会 座談会(2024年1月26日開催予定)

◆令和5年度 土木学会 会長室: <https://www.jsce.or.jp/president/index.shtml>

◆「海外インフラプロジェクトアーカイブス タイ国スワンナプーム空港プロジェクトを公開!

<http://www.jsce.or.jp/e/archive/>

◆国際センターだより: http://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac_dayori_2023

◆令和5年度 土木学会国際貢献賞、国際活動奨励賞 候補の募集
(2024年1月19日(金) 17:00(必着))

https://committees.jsce.or.jp/kouken_sho/

◆海外ドボクを見てみよう! (企画委員会 学生小委員会)

https://www.tiktok.com/@kaigai_doboku

◆第197回論説(2023年10月版) オピニオン

(1) 進化する下水道

<https://note.com/jsce/n/n8cef3ca4bedd>

(2) カーボンニュートラルに向けて鉄道の果たす役割と施策

<https://note.com/jsce/n/n72a02e83f2c5>

◆【改訂版発行】土木学会コンクリート標準示方書「施工編」、「ダムコンクリート編」、「規準編」

<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>

◆土木学会誌 2023年11月号 ※JSCE ウェブサイト(英語版)

<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>

◆Safe and Healthy Work in the Digital Age 2023-2025 Campaign

<https://healthy-workplaces.osha.europa.eu/en/media-centre/events/launch-ceremony-healthy-workplaces-campaign-safe-and-healthy-work-digital-age-2023-2025>

◆CECAR10: <http://www.cecario.org/>

配信申し込み

「国際センター通信」配信希望者 登録フォーム

・日本語版: (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)

・英語版: (<http://www.jsce-int.org/node/150>)

英語版 Facebook

直近の国際センターの活動について紹介しています。

(<https://www.facebook.com/JSCE.en>)

【ご意見・ご質問】JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp 皆様のご意見やコメントをお待ちしております。